



石打小だより

令和 4年 3月 1日 発行

第372号



閉校記念誌・記念品発送準備作業

令和四年二月十五日 夜

於 石打小学校二階パソコン室

見えないものを感じる

校長 高野 克彦

写真は、700部作成された閉校記念誌と記念品の発送準備作業の様子です。区長様をとおして地域の皆様のお手元にお届けするための準備をしました。記念品の発送作業は、閉校記念事業部の皆様が集まって行う予定でしたが、感染症第6波拡大の状況に鑑み中止となったため、学校職員があわせて行いました。お陰様で何とか仕分けや郵送の段取りもついて、この次の日の晩、区長様方にお渡しすることができました。皆様方のお手元にも届いたことと存じます。

この作業は、言ってみれば最終段階の一端です。ここにたどり着くまでに、どれほどの人が時間と手間をかけて、計画し、原稿を集め、写真を集め、編集し、点検し、……。書き切れないほどの選択と判断の業務がありました。関係したすべての皆様が「石打小学校の閉校をよりよいものとする」決意をもって事業に向かってくださったことに、頭が下がります。また、記念誌とともにお届けした手ぬぐいは、SINSETSU様が、デザインから仕上げまで、すべてにかかわり、制作を担ってくださいました。重ねて感謝申し上げます。

第6波の荒波は、我が校にも押し寄せています。感染の「疑い」「可能性」というだけで、登校できないルールがあるために、児童全員が揃う日がこのところありません。統合に向けての各種会合も延期や中止を余儀なくされています。残りひと月となりました。忙しさは益々その度合いを増しておりますが、見えないところで多くの人が支えてくださっていることに思いを馳せて、日々の業務に向かってまいります。

《3月の主な予定》

省略します

児童の活躍

省略します

親善スキー大会

2月3日(木)、出場選手を6年生だけに限定して第18回 南魚沼市小学校親善スキー大会が開催されました。クロカンの部、アルペンの部 共に、出場選手は無事完走を果たしました。

際だって上位の成績を収めた選手はおりませんでしたが、貴重な経験を支えていただきましたことに、まずは感謝申し上げます。

選手児童は、DQ(失格)、DS(棄権)、DF(途中棄権)や事故・怪我などが無いことを、当たり前と感じるかもしれませんが、そうではないはずです。また、思うような成績を得られなかった選手もいるかもしれません。

しかし、満足感や悔しさなど、あらゆる感情は、出場した者しか分からないのです。何にも増して、この経験は貴重であると思います。緊張感を抱えながらもレースに挑んだ選手諸君に、拍手をおくります。

ようこそ先輩！！

2月10日、NHK新潟放送局の山崎智彦アナウンサーが来てくださいました。石打小学校の卒業生であることに甘えて、不躰なお願いをたくさんしました。

①全校児童へのあいさつと自己紹介 ②6年生への講演 ③給食メニューの示範放送 ④広報委員会(校内放送担当)児童へのアナウンス指導 ⑤下学年児童との昼休み交流 ⑥1～3年生への教科書教材(物語)の読み聞かせ などなど。

山崎さんからは「同窓の後輩たちに囲まれて、こんなに幸せな時間は他にありません。本当にありがとうございました。」と、嬉しいお言葉をいただきました。

それぞれの活動の様子を学校ホームページに載せました。ぜひご覧ください。